

夏季課外発進その4

高校受験のために、磐城高校では、中学3年生に夏季課外の受講参加を認めております。今も、20名程の中学生が、1年生の課外に出席して、高校生の学習を体験しています。昨年度受講生徒は、高い意識と受験の際の得点率でもって、ほとんどが今の1年生に入学を果たしました。

スクールインフォメーションができましたので、今の中学生もぜひ参考にしてください。

スクールインフォメーション31原稿 磐城高校は未来の夢への架橋だ。

磐城高校は、平成30年度から、「福島イノベーションコースト構想を担う人材育成」に大きく関わっております。

「福島イノベーションコースト構想」とは、東日本大震災及び原子力災害によって失われた浜通り地域等の産業を回復するため、その地域に新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクトです。

磐城高校は、このプロジェクトの中で、「スーパー・イノベーション・ハイスクール」に位置づけられました。構想を牽引するトップリーダーの人材育成に取り組んでいくのです。

具体的には、廃炉を含む原子力発電システムを学んだ理学工学の専門家、放射線の原子段階からの発生過程とその除去システムの専門家、再生可能エネルギーや自然を守る生活システムの専門家、道路や橋や水道・電気・ガスというライフラインとインフラや都市構造の専門家、行政と連携できるオーガナイザー、法律の専門家、医師や薬剤師等の医療集団、住民に優しい行政等の人材育成を目指すのです。

大切なのは以下の5点です。

- 1 他者をリスペクト（尊敬）し、他者と協働し、高い志を抱いて社会変革や技術変革に挑む精神を保有すること。
- 2 健全なる社会体制を継続させるために努力を厭わず、思考力・判断力・表現力を駆使し、主体的・対話的で深い学びを実現させること。
- 3 健康な心身を保持するために、自己や他者との生活を豊かに対話し創造しながら営む意思を持つこと。
- 4 無限の可能性に向かって進む意欲を堅持し、地域課題や世代課題について常に意識しながら、課題解決のための様々な方策について粘り強く対峙できる能力を育てること。

5 知性を保持し、興味・関心を駆使して教養を深め、読書を継続し、人類の文化の真善美について深く傾倒することのできる感性とバランス感覚を育てて、その営みに責任を有すること。

イノベーション（変革創造）とは、古き良きものをリノベーション（回復、復元）しながら、様々なものとのコラボレーション（異なる分野の人や団体が協力して制作すること）することです。

中学生の皆さん。このような磐城高校生の一員となり、大きな志を持って様々な学びを培いながら、次代を背負う人材となって、いわきから日本や世界を支え、新しい世の中を創造していきましょう。

まさしく、磐城高校は、学びの姿勢を培い、教養を身に着け、社会システムを支える人材として社会貢献するべく自己を鍛え、同輩だけではなく先輩や後輩や世界の人々と協働することで、人脈を形成していく学校です。

この意味で、磐城高校は、未来の夢への懸け橋となるのです。